

第2学年2組 音楽科学習指導案

日 時：平成27年6月24日（水）5校時

場 所：広瀬中学校音楽室

授業者：教諭

司書教諭

学校司書

1 題材名 パイプオルガンの響きを味わおう フーガト短調

2 題材の目標

- パイプオルガンの音色と構造に関心を持たせる。
- フーガの特徴を理解し、旋律の重なるの美しさ、おもしろさを味わわせる。

3 図書館活用教育の視点

- 情報カードを使って集めた情報を比較・選択する力を身につける。
- 調べたことを視覚資料を用いて相手にわかりやすく表現する力を身につける。

4 学習の基盤

フーガト短調はJ.S.バッハ作曲、小規模ながら荘厳な雰囲気を持つ名曲であり、「小フーガ」の愛称でも有名である。パイプオルガンという歴史ある楽器によって奏でられる荘厳な音色や、バッハという巨匠が極めたフーガによる旋律と旋律の重なりがもたらす響きの美しさが、長く共通教材として位置づけられてきた大きな理由であろう。

本校生徒は明るく朗らかな生徒が多く、落ち着いた態度で学校生活を送っている。オーケストラなどの生演奏を音楽ホールなどで鑑賞する体験は少ないと思われる。パイプオルガンという楽器は多くの生徒が知っているが、その音を初めて聴くという生徒は多いと思われる。本授業が新しい音楽体験として生徒たちの心に残ればという願いから本主題を設定した。

指導にあたっては、パイプオルガンについて楽器そのものの大きさ、構造などにも目を向けさせながら、その音色に親しませたい。生徒たちの話し合い活動の中から、音色やフーガなどに関わる気付きや考えが生まれることを期待しているが、フーガの特徴や音楽の父といわれるバッハの作曲家像などに関連させながら、鑑賞活動を支援していきたい。

5 教材 DVD「中学生の音楽」(ビクター) 「パイプオルガン探検隊」(DVD) ほか

6 学習指導要領とのかかわり

- (1) 内 容 B鑑賞 (1)ア
- (2) 共通事項 ア 音色, 旋律, 形式

7 題材の評価規準

【関心・意欲・態度】

パイプオルガンの音色と構造について興味を持ち、意欲的に鑑賞しようとしている。

【鑑賞の能力】

旋律が重なり合うフーガの形式を知覚し、楽曲の雰囲気味わって聴いている。

8 題材の指導計画 (本時 2/3)

	目標	時	活動内容
第 一 次	楽曲に興味をもち、「フーガ」、「パイプオルガン」、「バッハ」についての知識を広げる。	1	・「フーガト短調」鑑賞 ・グループごとに関連図書を用いて情報を収集する。 ・収集した情報をフリップにまとめる。
	パイプオルガンの音色と構造に興味を持ち、旋律の重なりを感じながら鑑賞する	2 本 時	・「フーガト短調」鑑賞 ・発表を聞き合い、パイプオルガンの構造や仕組みについて知る ・発表を聞き合い、フーガについて理解し、旋律の重なり気付く。
第 二 次	バッハの人物像に触れながら、フーガの形式や旋律の重なりについての理解や考えを深める。	3	・「フーガト短調」鑑賞 ・バッハの人物像に触れる。 ・フーガについての理解を深める。 ・キャンパスまとめ

9 本時の学習

(1) ねらい

図書資料を活用して得た情報を視覚資料を用いて紹介し合うことで、音楽を形づくっている要素を知覚し、特質や雰囲気を感じ取る。【鑑賞の能力】

(2) 展開

学習活動	教師の支援	評価
○導入 既習曲クイズ 既習曲復習	・既習曲について口頭で出題する。	
○今日の学習のめあてを確認する。 ○「フーガト短調」鑑賞①	・今日の学習のめあてを提示する。 ・パイプオルガンによる演奏であることを紹介する。	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">パイプオルガンの音色の第1印象は？</div>		
「目覚めよ、と呼ぶ声あり」鑑賞 ○パイプオルガンの構造について紹介する。(グループ発表1) ○「フーガト短調」鑑賞② 冒頭部分を聴く。	・同じ楽器でも違う音色で演奏できることをおさえる。 ・発表の仕方、聞き方について説明する。 ・パイプオルガンの構造について補足する。	観察
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">この曲の特徴について、何か気が付きませんか？</div>		
○曲の特徴について気付いたことを話し合う。 ○フーガの形式について紹介する。(グループ発表2) ○「フーガト短調」鑑賞③	・旋律の繰返しに気付かせるようサポートする。 ・旋律が繰り返されるフーガの形式について分かりやすく補足説明し、本曲が4声のフーガであることをおさえる。 ※カノン、フーガ、主題、応答	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">繰り返される旋律に注目して鑑賞してみよう</div>		
○鑑賞した感想と今日の学習をふりかえりを書く。 ○バッハについて紹介する。(グループ発表3)	・鑑賞の感想と今日の学習のふりかえりを書くよう指示する。 ・次時の予告をする。	ワークシート、キャンパス

(3) 本時の評価

	評価資料	十分満足される例	おおむね満足できる	努力を要する 支援
音楽への関心・ 意欲・態度	観察 キャンパス(ワークシート)	意欲的に鑑賞に取り組んでいる	意欲的に鑑賞に取り組んでいる	意欲的に鑑賞に取り組むことができない生徒には、映像資料や教師のゼスチャーなど視覚的資料を用いて補足し、意欲的な鑑賞ができるよう支援する。
鑑賞の能力	観察 キャンパス(ワークシート)	パイプオルガンの音色と構造に興味を持ち、旋律の重なりを感じた鑑賞ができ、自分なりの言葉で詳しく感想を述べることができる。	パイプオルガンの構造に興味を持ち、旋律の重なりを感じた鑑賞ができ、感想を述べることができる。	旋律の重なりを感じた鑑賞ができず、感想を述べることができない生徒には、机間巡視などにより、個別に感想に役立つ助言を行う。

(4) 授業研究の視点

- ・図書資料を活用することは生徒の楽曲への関心をさらに引き出すことにつながっているか。
- ・視覚資料を作成し、紹介し合う学習活動は生徒の鑑賞の能力を高め、自分の言葉で感想をもつことの一助となっているか。